

# 京都市認知症疾患医療センター 北山病院 活動／報告

平成30年9月に北山病院が京都市認知症疾患医療センター（地域型）の指定を受けてから約1年半が経過しました。認知症疾患医療センターの役割と令和元年度の活動内容について報告します。



北山病院相談室  
部長 井上 基



## 1 京都市認知症疾患医療センター北山病院

京都府内には、府指定の認知症疾患医療センターが8箇所ありますが、京都市の指定は当院のみです。認知症疾患医療センターでは、認知症に関する専門医療相談や鑑別診断などを行うとともに、医療・介護機関と連携を図りながら京都市の認知症疾患対策の拠点として活動をしています。

主な業務内容は、次のとおりです。

(1) 専門医療相談（電話・面談など）

専門の相談員が、本人や家族からの認知症に関する様々な相談に対応するとともに、認知症初期集中支援チーム、地域包括支援センター、ケアマネジャー等とも連携を図っています。

(2) 鑑別診断とそれに基づく初期対応

専門の医師などによる検査や診察に基づき、認知症の鑑別診断を行います。また、診断をもとに治療をするなども

## 2 京都市認知症疾患医療センター北山病院 令和元年度活動内容

令和元年度1年間（平成31年4月～令和2年3月）の認知症疾患医療センターとしての活動内容について、主な項目のみを抜粋して報告します。



診療行為（外来や入院等）の対象とならない相談です。

1年間で延べ1,417件（月平均・118件）の相談を受けました。内訳は、表1（相談方法）、表2（相談者）、表3（相談内容）のとおりです。

当院が指定を受けた初年度（平成30年度）の相談が月平均・66・8件だったことと比べると、認知症疾患医療センターとしての地域への周知が進んだことで相談件数が増

加したと思われる。

相談内容としては、「医療相談」「センター受診予約等」「入院相談」を合わせた医療関係の相談が全体の61%を占めています。一方で「介護相談・介護サービス紹介」「医療・介護以外の相談」を合わせると29%あり、医療だけに偏らない相談を心がけた結果だと考えています。



認知症の人の外来は1年間で延べ563件（月平均・

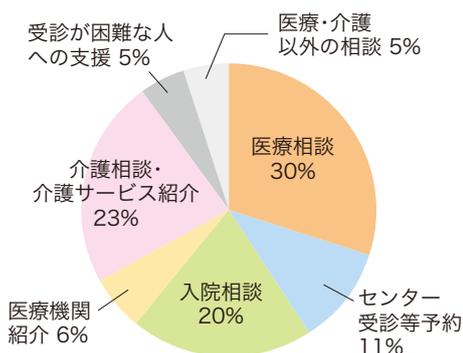


表3 相談内容

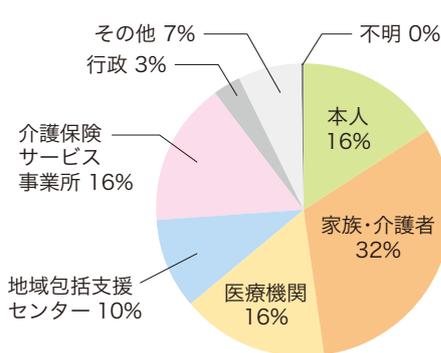


表2 相談者

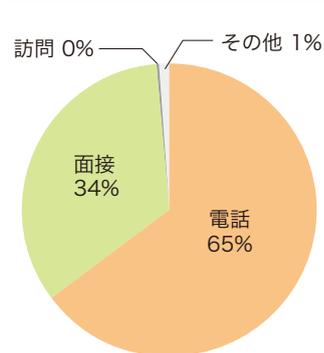


表1 相談方法